

性能評価事前研修会が開催された

令和3年度前期の鉄骨製作工場性能評価に申請した9社に対し、6月2日(水)14時から、事前研修会が神奈川中小企業センタービルで行われた。講師は、小原教育技術委員長、鈴木教育技術委員、目黒事務局長。

全鉄評が策定した「工場審査における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を踏まえて受審することや、審査時間短縮のため、審査員に事前に目を通していただけるよう、審査書類を審査日の2週間前までに当組合を通じて審査員に事前送付することなどの説明があった。

小原教育技術委員長からは、「鉄骨製作工場の基準マニュアル集(2018年3月)(JASS6改定時のもの。その後2019年2月にもマニュアル集は改訂している)のCDをプロジェクターで投影しながら、工作基準や検査基準などについて詳細な解説があった。

前年度前期に受審した鈴木委員の経験談が披露されたり、前年度後期に受審したファブが記録した写真や、ほぼ完成した某申請者の基準類が回覧され、情報や知見を共有できた有意義な研修会であった。



・上記CDは配付済みですが、欲しい方はご連絡ください。
・令和3年度後期申請予定のファブについては、別途研修会を開催する予定です。

なお、**Mグレードにおける品質管理責任者が管理技術者と兼務できない問題**は、前回審査時には認められても、次回審査時には認められませんので、早めに組合にご相談ください。(工場審査直前では間に合わないかもしれません。)

令和4年度横浜市予算要望ヒアリング

6月16日(水)16時10分から、横浜市役所議会棟3階多目的室において、自民党横浜市議員団の梶村幹事長、関政務調査会長など出席のもと、小原横浜支部長、加藤相談役(元理事)、辻理事が、①横浜市発注

の公共工事における地元専門業者の採用の徹底について、②公共施設、インフラ基盤の構築に向けた鋼構造の積極採用について要望した。

議員団からは、「鉄構業界の変化」「木造利用」「女性雇用」「SDGsの取り組み」等についての質問があり、加藤相談役を中心に、鉄構業界の現状等を回答し、市建設計画への位置づけを要望した。



リモートで多くの議員が参加

有害物ばく露防止対策補助金のご案内

特定化学物質障害防止規則等が改正され、2022年4月から、屋内で金属アーク溶接等作業を実施する事業者は、溶接ヒュームの濃度測定結果に応じ、換気装置の風量の増加その他必要な措置を講じなければならないこととなりました。法令の適用を前に溶接ヒューム濃度の測定を行う事業者に費用の一部を支援する「有害物ばく露防止対策補助金」が交付されます。

【補助の概要】

補助対象：作業環境測定機関に委託する溶接ヒューム濃度の測定に要する経費

補助率：経費の1/2

上限額：1人あたり2万円、1作業場4万円

【補助金公募期間】

第1期公募：令和3年7月1日～8月31日

第2期公募：令和3年10月1日～11月30日

【交付申請に必要な書類】

有害物ばく露防止対策補助金交付申請書
＜添付書類＞

- 1 ばく露測定に要する費用見積書(写：作業環境測定機関作成)
- 2 事業場の概要書
- 3 ばく露測定をする作業場所の見取り図
- 4 確認書

【申請手続きの流れ】

作業環境測定費用の見積→補助金交付申請→交付決定通知→測定の発注・測定実施→測定結果報告→補助金の受領 **測定の実施前**に申請等が必要

【申請窓口・相談窓口】

全衛連(補助金交付事務代行事業者)

申請書類等の入手：

<http://www.zeneiren.or.jp>

申請書提出先：〒108-0014

港区芝4-11-5 田町ハラビル5階

相談等 TEL 03-6809-5855

(平日 午前9時30分～午後5時)

電子申請アドレス： hojyokin@zeneiren.or.jp



鉄骨加工概論・工場見学の実施

6月15日(火)午後、今年で12回目となる日本溶接構造専門学校鉄骨加工概論の一環である工場見学が平塚市の岸本建設工業で実施された。

石井・小原・岸部各講師と生徒10名、引率の先生2名のほか、全構協から2名が参加した。

工場概要の説明、模擬原寸検査、模擬製品検査の講義を受けた後、空調服・ヘルメットを着用して現場に出て、入熱パス間温度管理、ペンキ膜厚検査実演、開先検査などの各種測定検査の状況に加えて、ハイドロカットの切断実演、D-Arc溶接機溶接実演を見学した。

新型コロナ感染予防対策に加えて、6月にしては、いつになく暑い陽気であったため、熱中症対策にもご配慮していただき、有意義な工場見学が実施できた。

岸本建設工業の皆さま、お忙しいところ、ありがとうございました。



模擬製品検査



超音波探傷検査



賛助会員だより Part2 No. 7

グローバルな知見とノウハウを通じて、未来に向かうサポートをします。

AIG損害保険株式会社 横浜支店

横浜市港北区新横浜2-4-19

TEL:045-227-3140 FAX:045-476-8179

H/P:https://www.aig.co.jp/sonpo

担当:笠原剛 Kasahara@aig.co.jp

:沖田弘基 ica.okita.hiroki@aig.co.jp

〈担当者コメント〉

この度は賛助会員として入会させていただき、誠にありがとうございます。会員企業様の発展に貢献したく一生懸命頑張りますので、よろしくお祈りします。

無記名かつ人数関係なく役員や社員の皆様の病気、怪我を保障し、企業の福利厚生制度としても活用できる保険商品やサービスなどを通じて、少しでも安心して働ける環境作りをお手伝いできればと思っております。



笠原 剛



沖田 弘基

〈社会貢献活動について〉

AIGは企業としての社会的責任を果たしていく際に、個人や企業が活動するコミュニティを支援すること、待ち受けるリスクに備えることに注力しています。

・具体例

当社はお客様への感謝をワクチンに代えて世界の子ども達に贈る支援を行っています。お客様にご加入いただいた医療総合保険の新規ご契約数に応じたワクチンを贈呈する支援を2007年より続け、2019年までに約82万本分のワクチンを「認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会」を通じて世界の子どもへ届けています。

〈スポンサーシップ活動について〉

2019年は日本でラグビーの国際大会が行われ、ラグビーブームとなりました。AIGは、横浜でも試合をしたオールブラックスのスポンサーを務めています。

試合前にハカを舞う
オールブラックス
(2018年撮影)

